

町総合計画 見直しを

福島町議会、町長に提言へ

【福島】福島町議会は8日、全員協議会を開き、第4次福島町総合開発計画の後期計画(2010～14年度)見直しを求める町議会独自の提言書をまとめた。自治体の長期総合計画への議会からの提言は栗山町議会などで行われているが、道南では初めて。13日に村田駿町長に提出する。

提言は4月施行の議会基本条例に定められた「議会の政策提言努力」に基づく。提言書の柱は、産業、教育、情報通信、行財政改革、人材育成の五つ。漁業後継者対策の充実や、町と漁協などとの共同事務局の新設、光ファイバー網の整備などを盛り込んだ。

町議会は町総合開発計画の「基本構想」の三つの重点目標のうち①産業の活性化②住みやすい環境―に絞り、6月から経済福祉常任委などで見直し作業を行ってきた。漁協や文化団体、教育委員とも議論した。

溝部幸基議長は「議会の提言は、町が方針を固める前の早い段階で行った方が良いと考

えて作業を急いだ」と話す。

町は既に9月末、町総合開発審議会に同計画見直しを諮問。今回の提言を検討した上で、12月議会にも見直し案を提出する。

(大高由裕)